

科目の内容（シラバス）

②授業科目名		③必修／選択の別	④単位数	⑤含む必須の教育内容番号	⑥担当教員名	⑦実施形態
多文化共生入門Ⅱ		必修	2	34・50	栗原 武士 鄭 銀志 植村 広美	対面
⑧授業のテーマ及び到達目標		①【知識・技能】多文化共生コアユニットにおける学びの具体的なイメージを把握し、個々の教員の専門領域についての基本的前提と、専門領域相互の関連性について理解する ②【思考力・判断力・表現力】上記の理解を通じて、自らの適性と問題関心について自覚し、今後の履修方針と専門領域の適切な選択を行う能力を身につける ③【主体性・協働性】各回の担当教員の指示のもと、クラスメートと協力して主体的に学びを深めることができる				
⑨授業の概要		「多文化共生と地域社会」という共通テーマに対して、複数の教員の専門領域から アプローチしてゆく授業である。様々な視点からの講義を受講しながら、多文化共生コアユニット専門科目の多様性と、それらの相互の関連性を理解し、自身の興味や関心の方向性を探る手がかりとする。				
⑩授業計画						
授業回等	各回の授業内容					各回に含む必須の教育内容番号
1	イントロダクション（教員自己紹介、授業概要説明）					
2	共生社会について考えるための社会的なものの見方					
3	中国のイメージとメディア（１）					
4	中国のイメージとメディア（２）					
5	日本の多文化共生（上水流）					
6	日本文化から問う文化概念					
7	現代アメリカにおける多文化主義					
8	アメリカにおけるフェミニズムの歴史					
9	韓国における多文化共生社会のあゆみ					
10	韓国における多文化教育の現状					
11	地域活性化を目指す韓国の多文化祭り					
12	異文化理解と心理学（１）					34・50
13	異文化理解と心理学（２）					34・50
14	異文化理解と心理学（３）					34・50
15	全教員による座談会					
⑪使用テキスト		授業内で適宜配布				
⑫参考書・参考資料等		授業内で適宜配布				
⑬同時双方向性の確保 （通信で実施する科目のみ）						
⑭学修課程の管理方法 （通信で実施する科目のみ）						
⑮学生等に対する評価 （評価基準・評価方法等）		担当教員ごとのミニレポートを合計して評価を行う。ミニレポートにおける①～③の観点の配分は各回の担当教員の判断による。				